

---

# 東方【I F】の平和世界

榊

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

東方【IF】の平和世界

### 【Nコード】

N0320BA

### 【作者名】

榊

### 【あらすじ】

狂王物語、悲劇と狂気、そして血に塗れた絵本は既に終わり、彼女達は世界の表から姿を消したのだった。そう、既に幕は閉じられ、狂気の絵本は終わったのだ。コレは【番外編】だ。せめてあの戦いの後、彼女達が平和でありますように。

## プロローグ（前書き）

帰って来ました、プロローグと言う事で短めです。

## プロローグ

今日も今日とてそこは平和だ。外の世界の様に文明が発達してないかもしれない。時間のゆっくり流れるその場所の名前は幻想郷。少し前に大きないざこざがあつたが、今では平和な物だ。

今日も紅白の巫女がため息を吐く、こたつと言う外の世界から流れ着いた物に豆炭を少し足して弾幕で火を付ける。弾幕と言っても小さな火の玉的な物だ。

「よう！霊夢、今日も遊びに来たぜ！」

「魔理沙・・・この寒いのに何でそんなに元気なのよ」

「私にはミニ八卦炉があるからな、これに少し力を送っておけば発熱して暖かいのぜ」

「羨ましいわね、家にはこの炬燵位しかないから寒くてね」

「稗田の家に行けば暖かいんじゃないか？あそこにはもうアイツも帰って来てるんだらう？」

「ああ、朝霧の事ね」

朝霧とは、この幻想郷が出来る以前から協力していた者の事だ。白銀の長すぎる髪に陰陽服、そして雪以上に白いかもしれない肌。無名の神、人間の賢者と呼ばれている。

そして、この世界線の稗田阿求は稗田阿礼以前の稗田、稗田阿明の頃にその朝霧と婚姻し、今、九代目で再開、稗田は不老不死の存在に成っている。周囲に降り積もる雪すら解かすバカッブル、いや、

馬鹿夫婦だ。

「あの家に行くと阿求の視線が痛いだよ」

「あー・・・解るぜ。あの目は地霊殿に行く前に見た・・・あのパルスィ・・・だったか？同じ目だからな」

「うおー！霊夢！雪だ雪！」

「っさいわね萃香、鬼は良いかもしれないけれど私達は寒いの！障子を閉めてくれないかしら！」

外の世界では雪が降れば子供が喜ぶと言うが、本当であろうか。今一解らない。自分がこの神社を先代博麗から継いだ時から雪で遊ぶ事は全くしていなかった記憶がある。どちらかと言うと雪掻きが面倒だ。一度魔理沙にマスタースパークでお願いしたが、神社ごと綺麗に掃除されてはたまったモノではない。

「こう言う日には宴会に限るぜ！」

「馬鹿なのね、魔理沙って。どう考えてもこの寒いのに敷地内で酒を飲むって言うのも寒いでしょうに。ソレにこの時期紫は冬眠している筈よ」

「ソレは違つぞ霊夢」

瓢箪の中からわき出る無制限の酒を煽っていた萃香が瓢箪から口を放す。キュポツと音がした後に銀色の糸が瓢箪と彼女の口を繋ぐ。それを乱暴に拭いアルコールの入った瞳で霊夢を見た。

「今年は何を持ったか起きてるらしい、式から聞いた」

「式・・・？ああ、あの狐ね」

「紫の保護者だぜ・・・あの狐」

八雲藍、彼女は苦労人とも言えるレベルだ。全員その光景が頭に浮かびうんうんと首を縦に振る。

「それにしても何の冗談かしら、あの妖怪が起きているなんて」

「何でも今年は初日の出を見るとか言ってたらしいよあ」

そう言うとき萃香は急に横に成り、そのまますぐに規則正しい寝息を立て始めた。おやすみ三秒とはまさにこの事であろうか。その内鼻提灯の出て来そうな彼女のとろける幸せそうな寝顔を見ると少し腹立たしくなってくる。

「にしても、この鬼は本当に最近よく寝てるよなあ。山の神社にも出没して、鳥居の上で寝てたって聞いたぜ？」

「まあ・・・萃香だから良いんじゃない？あの山の神社の神とは呑み友達とか言ってたし」

「うげ、神すらコイツの侵入を阻めないのかよ」

「粗ぶれば鬼、静まれば神と言うでしょうに」

そう言うとき霊夢は彼女に薄い布団を掛ける。彼女の優しさであろう。博麗神社は、今日も平和で、それでも何か、物足りなさそうであっ

た。

## プロローグ（後書き）

短い物しか描けません、これらかもよろしくお願いします。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0320ba/>

---

東方【IF】の平和世界

2011年12月31日20時54分発行